

第4講 建国期の教育思想

1 ジョージ・ワシントンとジョン・アダムズ



George Washington, 1732-1799、1789年 4月30日

(ジョージ・ワシントン像と NY 証券取引所)

John Adams, 1735-1826

精神革命と社会改良のための教育

国民教育の必要性、公共の関心事としての教育

富裕層の子弟のみならず、最下層の貧しい者までの、あらゆる階層の人々のための教育。すべてにものに対する教育は、公共の費用によって維持されるべきである。

2 アメリカ民主主義の聖パウロ

アメリカ教育制度、黎明期の立案者 Thomas Jefferson, 1743-1826

フランクリンとともに建国ために活躍。ドルを単位とする通貨制度の提案

(1) 生涯

(2) 人権宣言について 権利の章典 the Bill of Rights について

1776年6月12日採択 『ヴァージニア州憲法』

「すべての人間は、生まれながらにして、平等かつ自由で独立した存在であり、・・・人々は、社会を組織するにあたっては、彼らの子孫からそうした権利を奪うことは許されない。このような権利は生存権であり、財産を取得、所有し、また幸福と安寧を追求、獲得する手段を与えられて、生命と自由を享受する権利にほかならない。」

(3) 国民教育の理念

1779年「知識の一般的普及に関する法案」 A Bill for the More General Diffusion of Knowledge

1781年「ヴァージニア覚え書き」 Notes on the State of Virginia

質問第14「法の励行と諸法律の説明」

政治の権威を最終的に国民におく以上、国民の側に一定以上の知識と教養が備わっていることが大前提である。公費によって運営される初等教育を普及すること

(4) ヴァージニア大学の設立、国民教育計画案

1818年 「ヴァージニア大学の用地確保のために任命された委員会の報告書」

Report of the Commissioners Appointed to fix the Site of the University of Virginia

3 評価

合衆国における民主主義と教育が分かちがたいものであることを提唱
個人と社会の成功の機会が等しく開放されていなければならないこと
その前提として政治的平等の保証が必要である。